

災害と不平等

大震災で顕になる貧富の格差

社会の変化とライフスタイル I
2012.01.20

1

お金と災害

- 阪神大震災(1995)
- 神戸市長田区が被害大
- 長田区:低所得層が多い地域
- ハリケーン「カトリーナ」(2005)
- ニューオーリンズ市
- 黒人層に深刻な被害:
危険な地域に貧しい人々(多くが黒人層)が住んでいたから。



2

東日本大震災の場合・・・

- 貧しい人が住む地域が特に大きな被害を受けた、ということはない。
 - 被害が広域に及んだため。
- しかし、社会的弱者がダメージを受けやすいという事実は厳然としてある。
 - 震災の犠牲者の半分以上は、65歳以上の高齢者

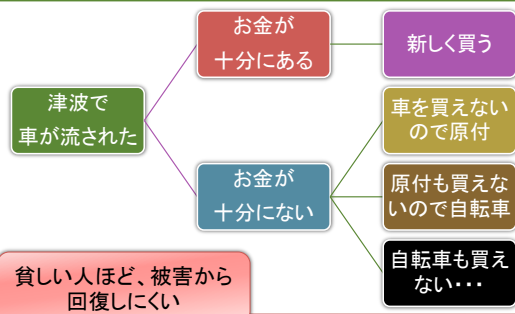
3

原発問題と地域的不平等

- 原発の立地地域:かつての貧しい漁村・農村
 - 仕事がないので若者が流出、冬は出稼ぎが当たり前
- 原発があることで、雇用が生まれ、定住者が増え、地域が発展していく。
 - しかし、いったん重大事故が起こると・・・
 - 原発による利益を受けるのは、豊かな都会の人々
 - 受益圏と受苦圏

4

被害からの回復力の不平等



5

ここで問題

- 東日本大震災によって発生した(あるいは、今後発生すると考えられる)、社会的・経済的な不平等の問題を、可能な限り指摘してください。
- **ここまでやった20120120**

6

大震災による被害

- 人的被害
 - 震災による死亡・負傷
 - 特に、主たる家計支持者の死亡・負傷の影響
- 物的被害
 - 自宅・財産の半壊・全壊
 - 勤務先の半壊・全壊 → 休業・失業
- 複合的被害
 - 人的被害と物的被害の複合
 - 移住による地域社会の人間関係の消失・弱体化

7

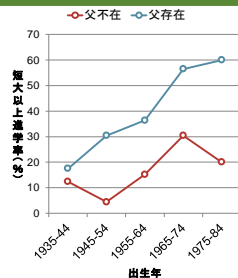
主たる家計支持者の負傷・死亡

- 日本の一人親世帯の経済状態 (2006年、厚生労働省調べ)
 - 平均年収、**228万円**
 - 相対的貧困率は、**54.3%**
- 子どもの貧困に直結する可能性
- 長期的には、経済的な理由による進学困難の発生が予想される。

8

復習「親がいない」ことの影響

- 父親が不在の家庭の場合、子供の大学進学率は低くなる。
- 一人親世帯(多くの場合、母子家庭)の経済状態の悪さに起因。
 - 2007年の大人が二人以上いる世帯の貧困率は10.2%
 - 一人親世帯の貧困率は、54.3% (出典:厚生労働省)



出典:稲葉(2011,p.245)

9

二重ローン問題

- 住宅を買うために住宅ローンを組んだ。
- 地震・津波で家がなくなった。
- また家を建てるために、新たに住宅ローンを組まなければならない。
- 前のローンが残っている状態で、新たなローンを抱える → 2重ローン
- 住宅だけでなく、店舗や経営資産・資材(工場、機器、漁船、トラックなど)でも同じ問題が発生。

10

震災による失業

- 震災で職場がなくなった。
- 震災で経営が立ち行かなくなった。
- 震災による失業者は、福島・宮城・岩手の3県で約3万人(2011年12月厚生労働省)。
- NHKの推計では12万人(NHKスペシャル『震災失業』2010年1月7日)

11

失業給付切れ

- 失業給付
 - 失業した場合に、一定期間受け取れる補助金
 - 受給できる期間は、勤務年数や年齢等によってさまざま(90日～360日)
 - 小規模な自営業(の事業主)の場合、対象外
- 今回の震災の場合、国が120日の特例延長を認めた。
 - が、今月から切れる人が出始めている。
 - 仕事が見つからないと、厳しい状態に

12

失業とミスマッチ

- ミスマッチ (不適合) miss match
- 仕事の需要 (失業者の希望) と、供給 (企業側の求人) が合わないこと。
- 職種ミスマッチ
 - 例: 正規の安定した仕事に就きたいのに、非正規の仕事しかない。
- 地理的ミスマッチ
 - 例: 地元で働きたいのに、地元の仕事がない。

13

移住による地域の社会関係の弱体化・消失

- 震災で住むところを失い移住 (仮設住宅、他の地域への移住)
- それまであった地域の社会関係・人間関係が消失、弱体化する。
- 高齢者の孤独死や、貧困等の増加に影響する可能性。
- 移住先での偏見や差別が発生する可能性 (特に福島県からの移住者)

14

阪神大震災の仮設住宅問題

- 仮設住宅に長期に住み続ける (仮設住宅から出られない) 人の特徴
- 高齢者、経済的に貧しい、家族・親族に頼れる人がいない。
- 同じ問題が、今回も発生する可能性大。

15

復習(4) 家族や周囲のサポートがない

- 本人が経済的に苦しい状況になっても、家族 (あるいは、友人や近所の人) が助けてくれれば問題ない。
- しかし、「支えてくれる家族」がいない人はどうしようもない (今回のビデオ)。
- 貧困に陥っている人は、社会的に孤立している傾向。

16

★震災と不平等:まとめ

- 建物やインフラの物理的な破壊および復旧と違って、社会的・経済的な不平等と関連する震災ダメージは目に見えにくい。
- ゆえに気づかれにくく、忘れ去られやすい。
- こうした問題の中には、長い時間をかけて次第に顕わになってゆくものもあり (例: 貧困や進学問題)、これから本番と言える。
- 回復力の不平等を解消するために、公的・私的な様々なサポートが必要。
- **今日の話が問題点の全てではないので注意。**

17

業務連絡

- 今後の予定
- 24日 (火) 授業
- 27日 (金) 授業
- 試験: 2月10日 (金) 9:20 ~ 235教室
- テストは持ち込み可 (詳細は次回)
- 授業スライドを公開予定 (詳細は次回)

18